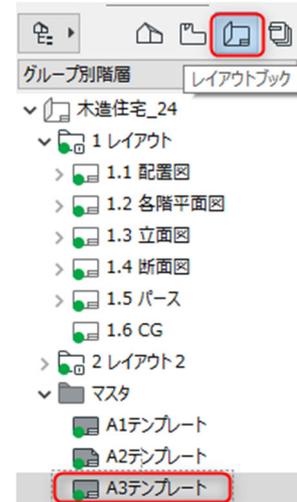


### 4.3. レイアウトブック

ここでは、図枠を設定した後、先に作成した図面のビューを配置していきます。  
 まずは図枠を[マスタレイアウト]に設定していきます。

#### 4.3.1. マスタレイアウトの設定

マスタレイアウトに社名やプロジェクト情報を登録  
 [ナビゲータ]から [レイアウトブック]のアイコンをクリックし、マスタから「A3 テンプレート」をダブルクリックします。



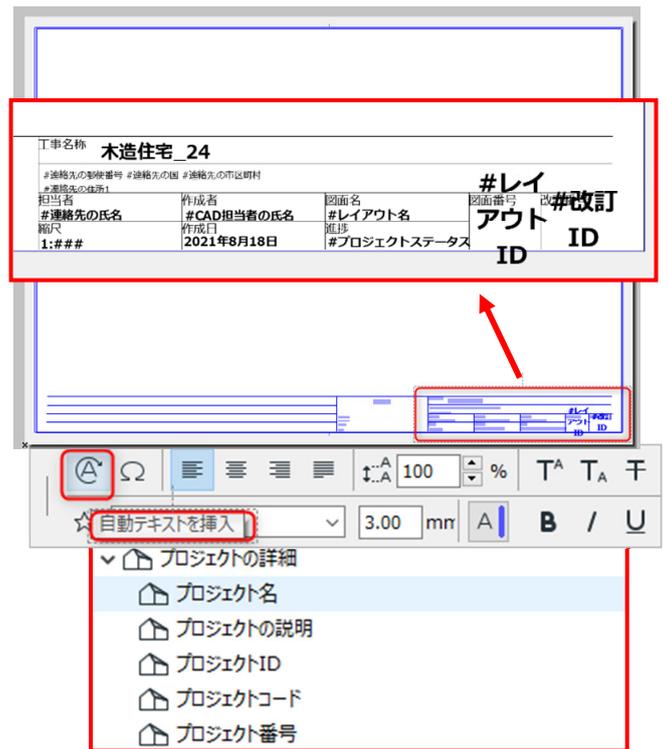
表示された A3 の図枠は、デフォルトで設定されているものですが、用紙サイズを含め自由に設定をすることもできます。

今回はこの A3 設定を利用し、右下のタイトル枠の内容を見ていきましょう。

Archicad の初期設定されているものは

- ・ 工事名称 (プロジェクト名)
- ・ 図面名 (レイアウト名)
- ・ 縮尺 (図面の縮尺)
- ・ レイアウト番号

など、Archicad のデータから、自動テキストを利用して、内容を自動的に取得、更新することができるので、手入力をしなくてよい部分が多くなっています。



自動的に取得できる情報は、元々設定されているものに加え、ユーザーが自由にいくらかでも追加することができます。

特に図面の枚数や順番が入れ替わることが多い中で、図面番号が自動に設定更新されるのは便利ではないでしょうか。  
 他にも、改定管理も行うことができます。

図面名	図面番号	改訂番号
断面図	1.4	
進捗		
#プロジェクトステータス		
立面図	1.3	
進捗		
#プロジェクトステータス		
各階平面図	1.2	
進捗		
#プロジェクトステータス		
配置図	1.1	
進捗		
#プロジェクトステータス		

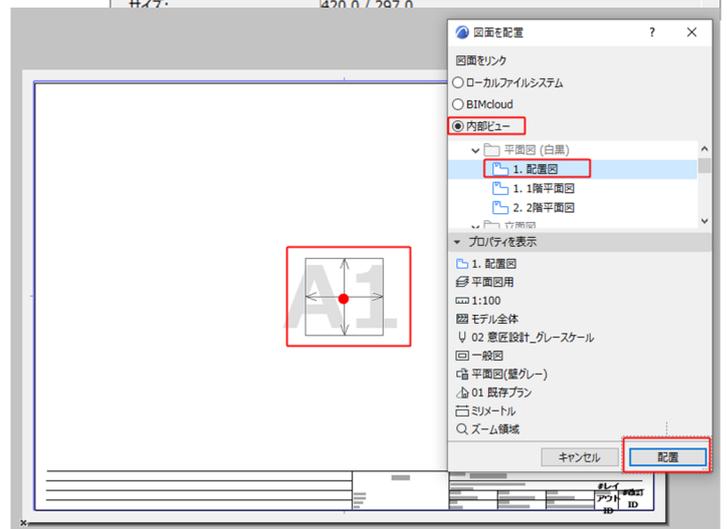
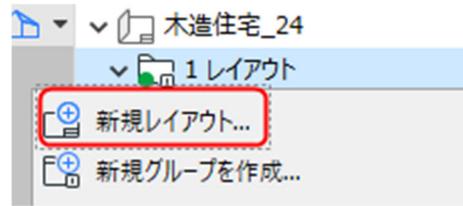
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

### 4.3.2. 配置図ビューのレイアウト

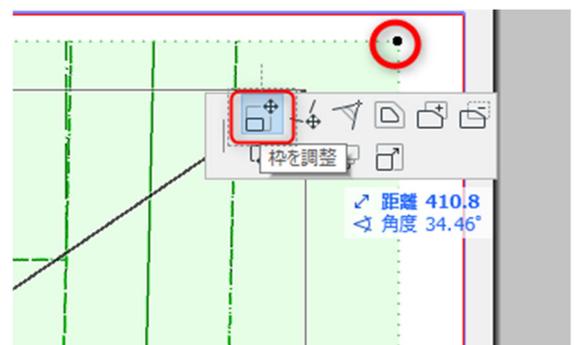
新規レイアウトを作成し、平面図やパースを配置します。

- ① ナビゲータから[レイアウトブック] → [1. レイアウト]の上で右クリック → [新規レイアウト]をクリックします。
- ② [レイアウト名]に「配置図」と入力します。
- ③ マスタレイアウトを「A3 テンプレート」に設定し、[作成]をクリックします。
- ④ ツールボックスから[図面ツール]をクリックし、レイアウトの中央でクリックします。  
図面を配置ダイアログボックスから、[内部ビュー]を選択し、表示されるリストから、「1.配置図」を選択し、[配置]をクリックします。

※内部ビュー = 「ビュー一覧」



- ⑤ 配置した図面を選択し、節点上で左クリックし、「ペットパレット」を表示します。
- ⑥ ペットパレットの[枠の調整]では、図面のトリミングができますので、表示したい範囲を調整できます。  
その他、[移動]や[回転] コマンドを使って、位置調整を行います。



※トリミングは矩形だけでなく、頂点を移動したり、部分的に範囲を削ったりすることで、自由に表現することができます。

★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「レイアウトへの図面の配置」](#)にて詳しく紹介しています。

#### 4.3.3. 平面図・立面図・断面図・パースのレイアウト調整

同様に、各階平面図、断面図、立面図、パースをレイアウトしましょう。



#### TIPS :

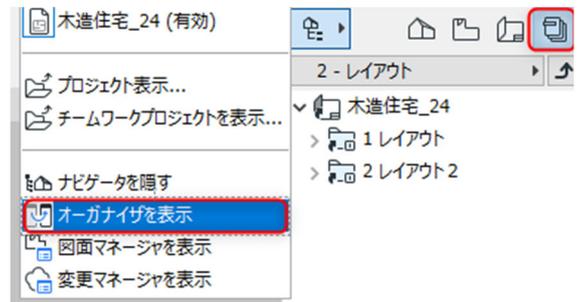
レイアウト情報も含めてテンプレートファイルに保存することができますので、位置調整は必要ですが、同規模サイズのプロジェクトの場合は、ビューも含めて活用できます。

#### 4.3.4. 発行セット（印刷、ファイル保存）の作成

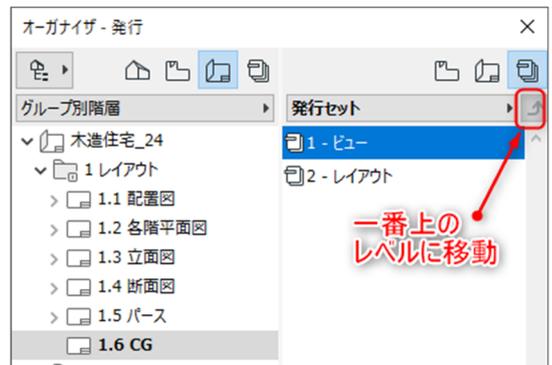
印刷やファイル保存（PDF,JW,DXF等）は、1枚ずつ行うこともできますが、[発行セット]を利用することで、出力の組み合わせや印刷、ファイル形式を指定することができます。

PDF、BIMxの発行セットをそれぞれ作成してみましょう。

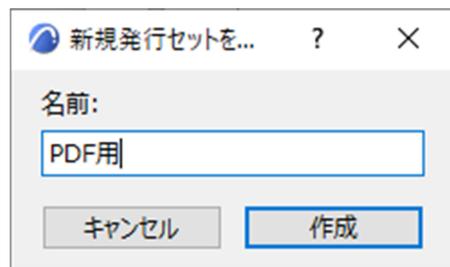
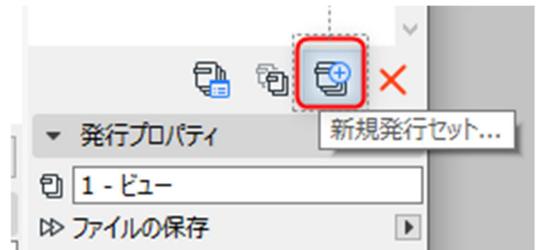
- ① 発行セットを作成するために、  
[オーガナイザ]を表示します。  
ポップアップナビゲータのアイコン  
をクリックし、[オーガナイザを表示]  
を選択します。



- ② 右側の発行セット欄で、一番上のレベルに移動し、発行セットを作成します。  
(右図では2つ発行セットがある状態)



- ③ [新規発行セット]を選択します。  
まずはPDF用の発行セットを作成  
しましょう。  
名前を「PDF用」とし、作成ボタ  
ンをクリックします。



- ④ 作成された「PDF 用」を選択し、「発行プロパティ」を開きます。

作成した発行セット毎に、「発行プロパティ」を設定することで、印刷、各種ファイル保存がワンクリックで、できるようになります。

この発行セットもテンプレートファイルに保存することができるので、よく使う設定は繰り返し利用ができます。

- ⑤ 発行方法：ファイルの保存  
単一ファイルを作成

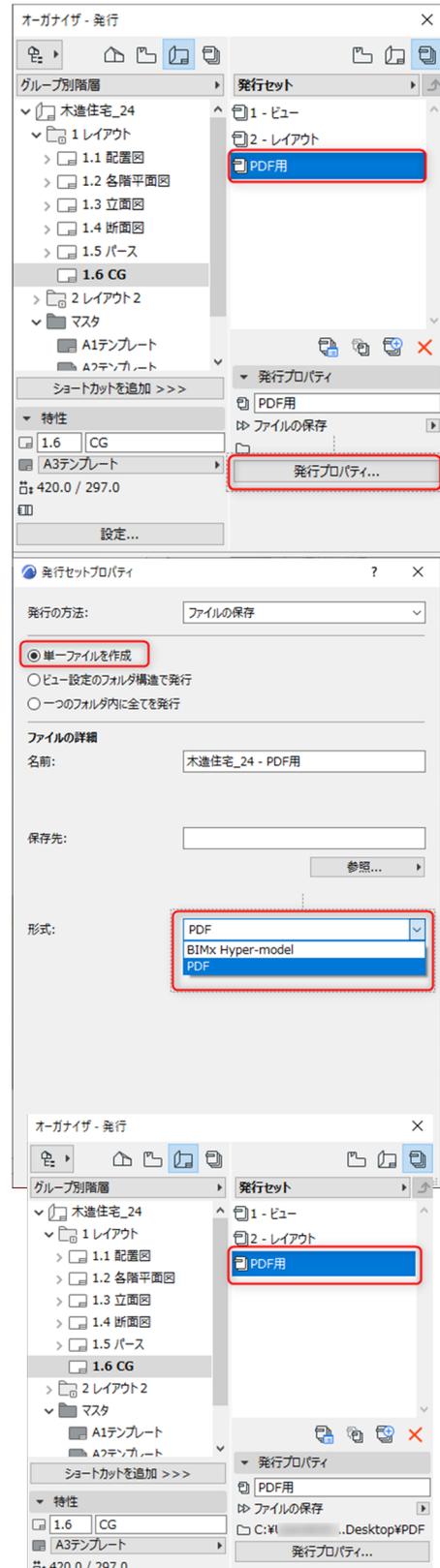
形式：PDF

とすることで、複数ページの PDF を作成することができます。

単一ファイル以外を選ぶと図面毎にひとつの PDF ファイルを作成します。その際のフォルダ構成はビュー一覧のフォルダ構成または同一ファイルへの書き出しが選択できます。

- ⑥ 発行プロパティが設定されると、ダイアログ下部に保存先フォルダなどの情報が表示されます。

続いて、どの図面を PDF 出力するかの設定を行う為に、作成した発行セットをダブルクリックします。

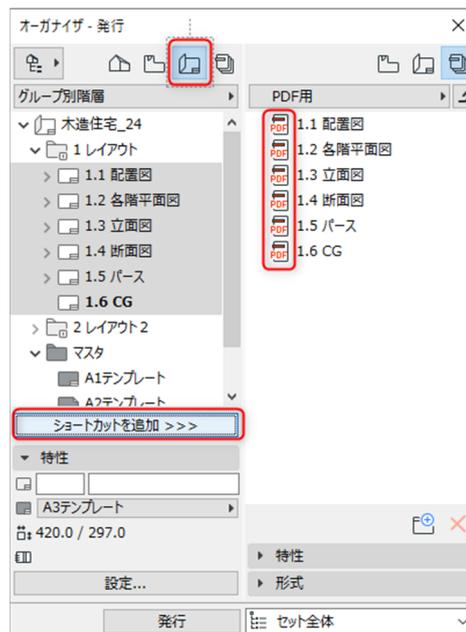


⑦ 左側の欄は、「レイアウトブック」を選択し、PDF に含めたいレイアウトを選択し、「ショートカットを追加」をクリックすると、右側の欄に PDF アイコンがついたレイアウトが表示されます。

⑧ 必要なレイアウトが含まれたら、左下の「発行」ボタンをクリックします。

指定されたフォルダに、複数ページを持つ一つの PDF ファイルが作成されます。

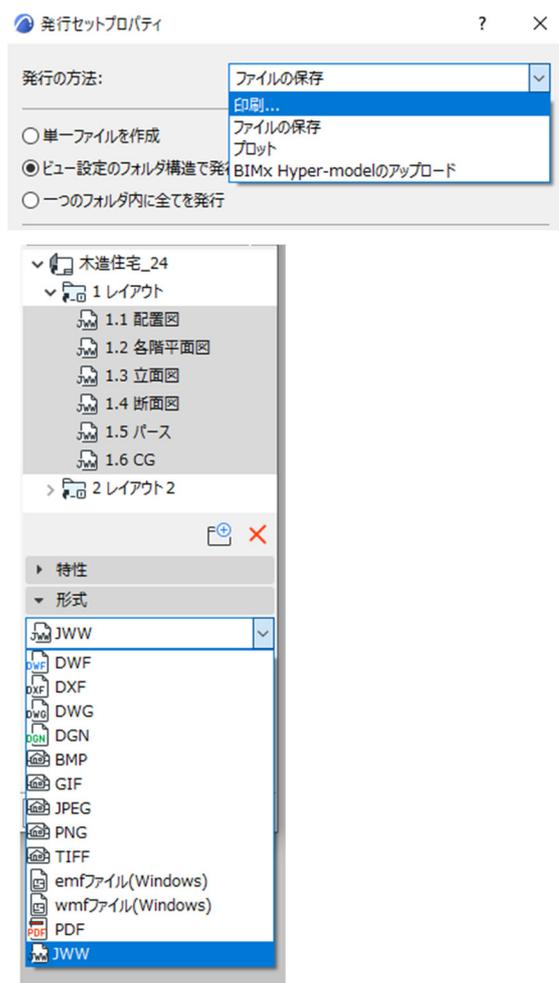
次回以降は、発行ボタンを押すだけで、その時点の更新された内容が、PDF ファイルとして作成されます。



発行セットプロパティで、発行の方法を切り替えることで、印刷、ファイルの保存などが行えます。

ファイルの保存では、レイアウトを選択し、[形式] から、必要なフォーマットに切り替えることで、DXF、DWG や JWW \*1 などのファイル形式を選択できます。

\*1 JWW への変換は、保守サービスの機能の一つです。また Windows 版のみサポートしています。



### 4.3.5. BIMx データの発行

BIMx Hyper Model を作成し、3Dモデルと図面を見てみましょう。

BIMx（ビムエックス）とは、Archicad から出力できるファイルフォーマットで、3Dモデルと図面を一つのファイルとして出力することができます。また作成された BIMx データは下記の無料ビューアによって、ご覧いただくことができます。

- ・アプリ (iOS、Android)
- ・デスクトップビューア
- ・ブラウザ版ビューア

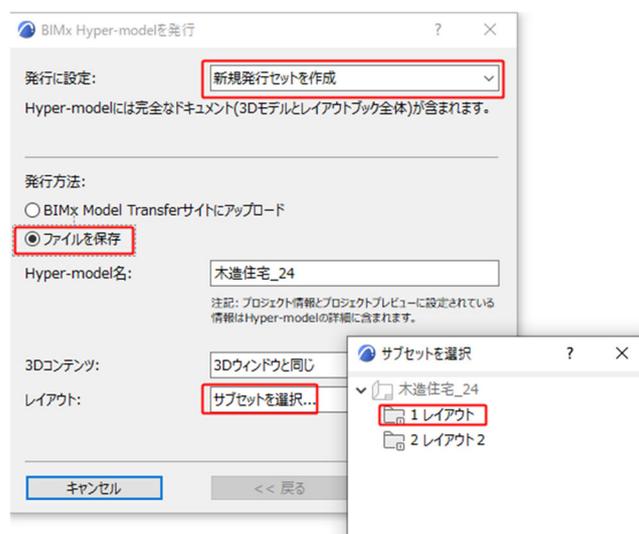
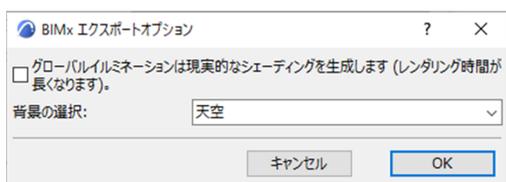
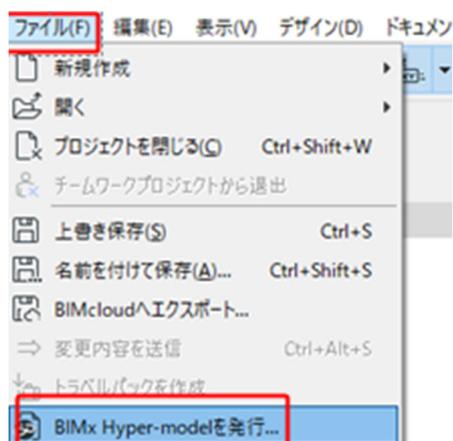
BIMx の詳細と、各アプリのダウンロードはグラフィソフトウェブページをご覧ください。  
「[BIMx ページ](#)」にて詳しくご紹介しています。

前述の発行セットで指定することもできますが、簡易な設定で、新規に BIMx 用の発行セットを作成することができます。

- ① 発行したいモデルを 3D で表示させます。
- ② メニューバーから「ファイル」－「BIMx Hyper Model 発行」を選択します。
- ③ 発行方法「ファイルを保存」を選択し、任意の名称を入力します。  
「3D ウィンドウと同じ」  
「レイアウト」は、「サブセット」を選択し、レイアウトのサブフォルダを選択します。今回は、「1 レイアウト」を選択します。

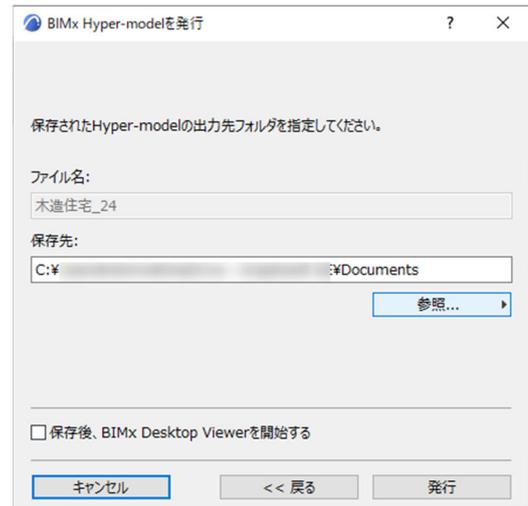
[オプション]

「グローバルイルミネーション」にチェックを入れるときれいな 3D になりますが、計算時間が長くなりますのでご注意ください。



「次へ>>」をクリックします。

ファイルの保存先の指定をし、「発行」をクリックします。



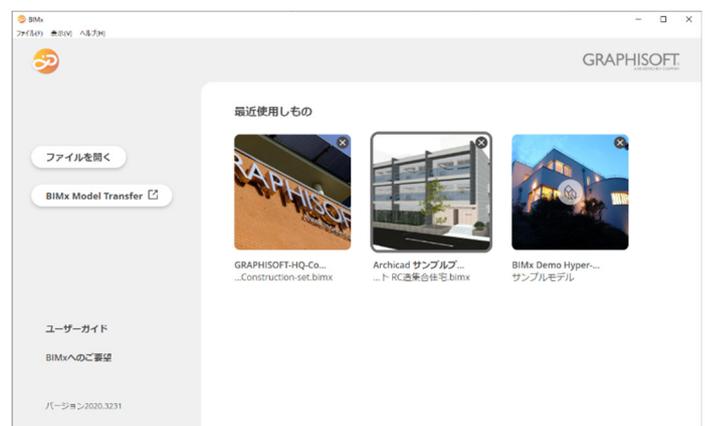
#### 4.3.6. BIMx DeskTop Viewer でデータを見る

発行した BIMx Desktop Viewer やスマホ、タブレットなどのアプリで見ることができます。

Desktop Viewer のダウンロードはこちらのページから行って下さい。

<https://graphisoft.com/jp/downloads/bimx>

- ① BIMx Desktop Viewer を起動します。  
過去に開いたことのあるファイルが表示されます。  
「ファイルを開く」を選択し、作成した BIMx ファイルを指定します。



- ② ファイルを開くと、BIMx に保存されている 3D モデルと図面のリストが表示されます。

3D モデルを開くには、リストから「3D」を選び、下の「クリックして開く」をクリックします。



- ③ マウスを使って回転したり、右下のメニューにある [ウォーキングモード] でウォークスルーをすることもできます。

またモデル上に表示される図面アイコンをクリックするとその位置にリンクされている、平面や立断面の図面を開くことができます。

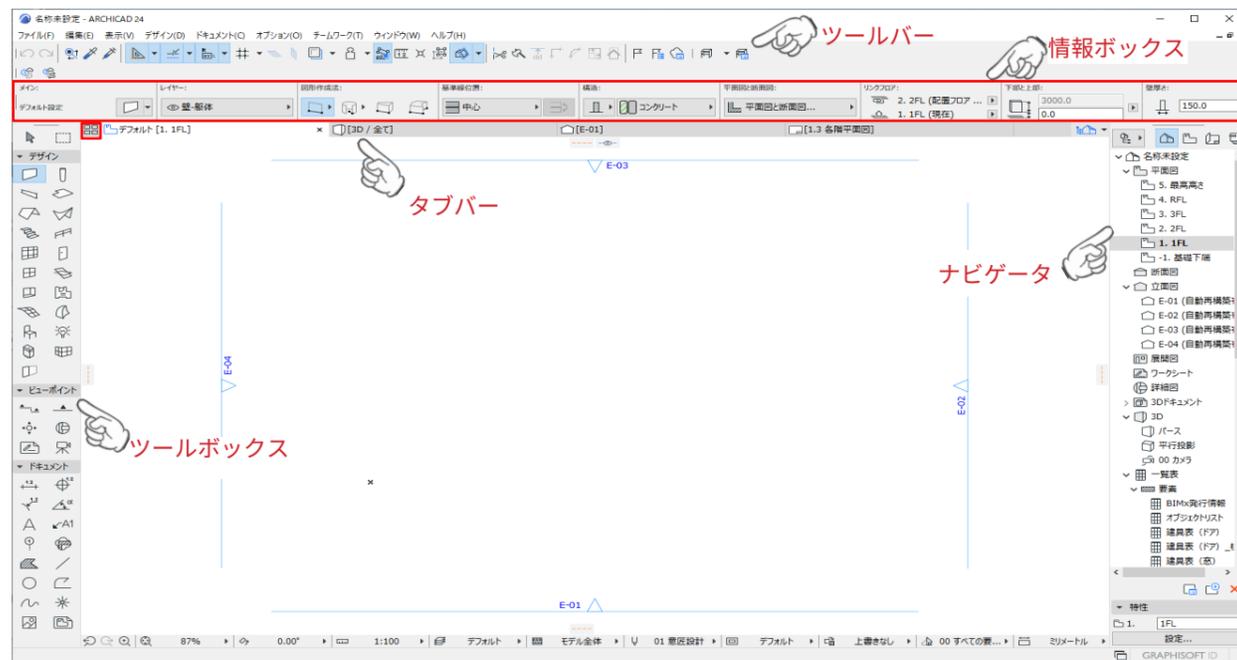
操作については、ヘルプメニューから、ユーザーガイドをご覧ください。



## 5. 巻末資料

Archicad24 クイックリファレンス

## インターフェース



### タブの概要を表示

開いているタブの内容を表示します。  
各タブの上にカーソルを合わせると、そのタブの内容が確認できます。

### マウスのホイールボタン操作

スクロール：ズーム  
プッシュ+ドラッグ：移動（パン）  
Shift+プッシュ+ドラッグ：回転  
ダブルプッシュ：全体表示（ウィンドウに合わせる）

### Archicad サポート情報



GRAPHISOFTヘルプセンター  
<http://helpcenter.graphisoft.co.jp/>  
グラフィソフト製品のオンラインリファレンスガイドやヘルプ記事など豊富な情報を検索することができるヘルプサイト。



GRAPHISOFT ナレッジセンター  
<https://support.graphisoft.co.jp/>  
使い方のヒントや解決策、またよくある質問など検索できるナレッジベース

## ショートカット

### ファイルメニュー

新規作成	Ctrl + N
ARCHICAD を終了	Ctrl + Q
ファイルを開く	Ctrl + O
チームワークプロジェクトを開く / 参加	Ctrl + Alt + O
プロジェクトを閉じる	Ctrl + Shift + W
上書き保存	Ctrl + S
名前をつけて保存	Ctrl + Shift + S

### 画面表示

平面図	F2
3D ウィンドウ	F5
パース	Shift + F3
平行投影	Ctrl + F3
拡大	+
縮小	-
スクロール	← ↓ → ↑
回転	O
再構築	Ctrl + Shift + R

## ショートカット

### 編集メニュー

元に戻す（アンドゥ）	Ctrl + Z
やり直し（リドゥ）	Ctrl + Shift + Z
切り取り	Ctrl + X
コピー	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V
全てを選択	Ctrl + A
移動	Ctrl + D
回転	Ctrl + E
ミラー	Ctrl + M
移動コピー	Ctrl + Shift + D
回転コピー	Ctrl + Shift + E
ミラーコピー	Ctrl + Shift + M
連続コピー	Ctrl + U
選択セットの編集	Ctrl + Shift + T
ツールの設定	Ctrl + T

### ツールメニュー

グループ化	Ctrl + G
グループの一時解除	Alt + G
グループの解除	Ctrl + Shift + G
上のフロアへ移動	Shift + F2
下のフロアへ移動	Ctrl + F2
参照線を表示 / 隠す	L
参照線を作成	Alt + L
3D 要素フィルタ / 切断	Ctrl + Alt + A
3D 切断	Ctrl + Y
図形作成法の切替え（情報ボックス）	G
組み立て法の切替え（情報ボックス）	C
吸引	Alt + V
計測ツール	M
参照オン / オフ	Alt + F2
座標情報	N

### 固定ショートカットキー

操作をキャンセル	Esc	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力中の場合 → 操作のキャンセル</li> <li>選択中の場合 → 選択を解除</li> <li>矩形選択の場合 → 矩形選択を解除</li> <li>何も選択されていない場合 → 矢印ツールに切替え</li> </ul>
パラメータを取得	Alt + クリック	各ツールの設定を取得します
パラメータを置換	Ctrl + Alt + クリック	取得した設定に置き換えます
クイック選択切替え	スペースキー	矢印ツールのクイック選択モードの ON/OFF
マジックワンド	スペースキー	マジックワンドを有効にします
切り取り	Ctrl + クリック	要素の最も近い 2 点間を削除します
マウスの角度コントロール	Shift	要素の入力方向を設定角度に固定します
原点の移動	Alt + Shift + クリック	ユーザー原点移動
切り替えをハイライト	Shift + Tab	重複している要素の選択切り替え
最後の入力箇所の取り消し	Backspace	多角形入力時に最後に入力した箇所の取り消し

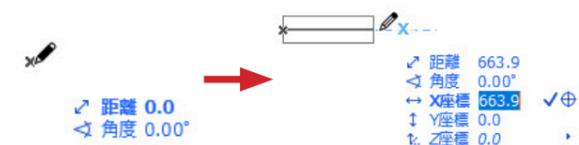
## 座標入力

### 座標情報

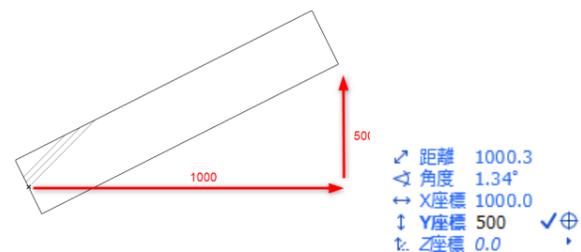
座標情報を使用するには 座標情報を使用するには 座標情報を使用するには、ツール上の座標情報切替えボタンを有効化します。



座標情報でキーボードから X,Y などのキーを押すと座標情報が展開されます。



### 相対入力情報



- 例 X : 1000 ミリ、Y : 500 ミリ
- ① 1 点目をクリック
  - ② X1000+Y500+✓をクリックまたは Enter (マイナス方向への入力は-にする)

### 距離を入力

- 例：1000 ミリ長さの壁
- ① 1 点目をクリック
  - ② 1000 と入力し、✓をクリック又は Enter



### 座標入力ショートカット

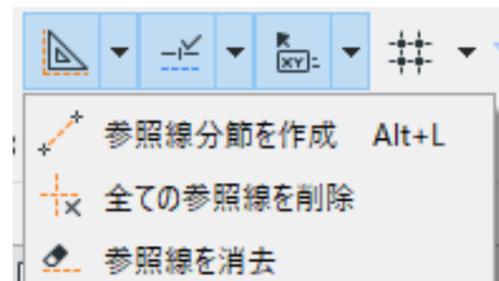
距離	: R
角度	: A
X 座標	: X
Y 座標	: Y
Z 座標	: Z
入力切替え	: Tab

✓ は 確 定、⊕ は位置をマーク

## 参照線

### 参照線表示 / 非表示

- ① 参照線は参照線分節を作成より入力できます。2D / 3D の両方のウィンドウで正確な入力を実現します。



- ② 参照線は参照線タブからドラッグでも配置可能です



### 参照線の移動とコピー

[移動] マウスを近づけて を表示し、ドラッグ。  
[コピー] 移動しながら、Ctrl キーを押すとコピーできます。



### 参照線ショートカット

参照線を表示 / 隠す	L
参照線を作成	Alt + L

## 要素選択

### 選択設定

矢印ツールが有効な状態：目的の要素をポイントしてクリックします。または、マウスで囲んで、選択する要素を矩形で囲みます。  
選択対象ツールが有効な状態：Shift キーを押し、目的の要素をポイントしてクリックします。

図形作成法：ポリゴン / 矩形 / 回転矩形



選択方法：要素一部 / 要素全体 / 方向依存

### 選択ショートカット

クイック選択切替え	スペースキー
選択 / 連続選択 (アクティブツール優先)	Shift + クリック
選択タイプの切り替え	Ctrl + Shift
重複している要素の選択切り替え	Tab (クイック選択時)

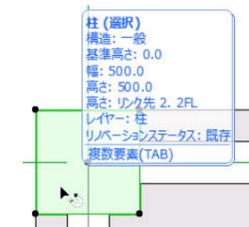
### クイック選択

クイック選択は、面を持つ 1 つの要素 (スラブや屋根など) を選択する最も簡単な方法です。クイック選択をデフォルト作業モードとして起動するには、矢印ツールの情報ボックスで [クイック選択] アイコンをオンにします。

- ① クイック選択モードをオンに設定  
壁 / スラブ / オブジェクト等の各要素の上にマウスカーソルを移動



- ② クイック選択モードがオンの状態でクリックすると各要素が選択されます。



## ペットパレット入力 / 編集機能

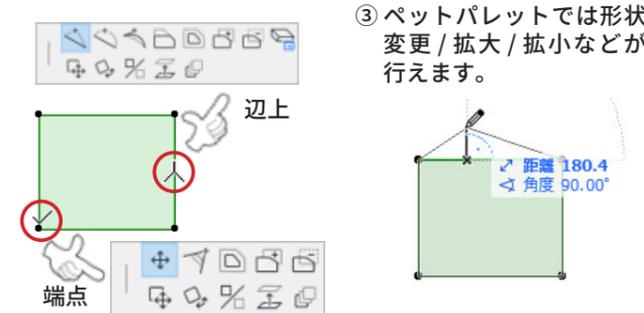
### ペットパレット入力

壁 / スラブ / 線分等の各ツールで使用できます

- ① 直接入力
- ② 前の辺に正接する円弧
- ③ 正接で定義される円弧
- ④ 3点で定義される円弧
- ⑤ 中心で定義される円弧
- ⑥ 入力終了

### ペットパレット編集

- ① 要素を選択します。  
※ 選択されたツールをアクティブにしてください。
- ② 辺上でカーソルが人三叉、端点でカーソルが✓チェックでクリックするとペットパレットが表示されます。



- ③ ペットパレットでは形状変更 / 拡大 / 縮小などが行えます。

### インテリジェントカーソル

